

精神看護方法論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

・学修方針（講義概要等）

精神看護を行うための考え方や実践方法を学び、精神保健領域において看護援助を行う上での基礎的な知識と技法を習得する。そのため精神医療の現状や課題について説明でき、精神疾患患者の回復を助けるために必要な治療的援助関係を理解し、精神医学の診断・治療はどのような理論や基準とともに行われているのか、さらに生活支援のための保健医療福祉サービスの実際および精神保健看護における課題について学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

精神保健上の問題を抱えている対象及び家族に対する適切なケアを実施するための基礎的な知識と技術を学修する。

精神保健上の問題を抱えながらも自分の人生の主導権を持ち、自分自身の独自性を価値あるものと認め、社会に参加し、そして希望を創造し実現していくその過程（リカバリー）について理解し、説明できる。同時に、精神医療・福祉における法律および制度、地域社会の変化や精神保健・医療・福祉の動向、人の行動変容に必要な基礎理論と共に、精神障害の診断と治療、精神薬理の実際、療養環境と治療の遂行に伴う安全性の確保など、精神科領域の治療環境を踏まえた治療の全体像を理解し、説明することができる。

事例に基づいた事前課題を学修し授業に臨むことで、主体的に物事を探求する姿勢を身につけることができる。毎回の授業では、事前学修を活用しながらグループディスカッションを通して、事例に基づいた疾患や治療の特徴を理解するとともに、対象の生活者としての側面、心理・社会的側面などを対象の経験や希望を共有しながらアセスメントし、リカバリーに向けたケアの方向性を、生み出すことができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 6, 7

・到達目標（SBO）

1. わが国の精神科医療・福祉における法律および制度とその活用について説明できる。
2. 統合失調症・気分障害・依存症など精神疾患の特徴と回復プロセス、必要とされる治療やケアについて説明できる。

3. 精神科医療における治療環境の意味と課題、看護の役割について説明できる。
4. 事例に基づき、グループディスカッションを通じて、精神保健上の問題を抱える対象の「生きにくさ」や「ストレングス」、看護の視点から対象の経験や希望を共有しながらアセスメントし、ケアの方向性を生み出すことができる。
5. 精神科以外の多様な場における精神看護の役割について説明できる。

・授業日程

(矢) 西 1-B 講義室

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
9/19 (火) 3限	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授	精神障害の診断と分類（ディスカッションと講義） ・ DSM と ICD の診断分類について説明できる ・ 統合失調症と気分障害の概念の変遷と診断基準について説明できる 【事前学修】 60 分 教科書の該当範囲を読む 事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施 【事後学修】 60 分 精神障害の診断と分類の要点をまとめる
9/22 (金) 1限	地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師	治療環境と看護①（ディスカッションと講義） ・ 精神科病棟や精神科入院の特徴を説明できる ・ 入院の意味を理解する治療環境をいかに作るのかを説明できる ・ 入院から退院までのケア展開を説明できる 【事前学修】 60 分 教科書の該当範囲を読む 事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施 【事後学修】 60 分 精神科入院の特徴や治療環境をまとめる
9/28 (木) 2限	地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師	治療環境と看護②（ディスカッションと講義） ・ 患者の安全を守る環境とケアについて説明できる ・ 隔離と身体的拘束の意味と最小化に向けた取り組みについて説明できる ・ 精神科における緊急事態に対処するための方法について説明できる 【事前学修】 60 分 教科書の該当範囲を読む 事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施 【事後学修】 60 分 患者の安全を守る環境とケアの要点をまとめる

<p>10/5 (木) 2 限</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授</p>	<p>地域における精神看護（ディスカッションと講義）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者の地域生活を支えるための法律及び制度について説明できる ・活用できる社会資源を挙げることができる ・地域で生活するための原則について説明できる <p>【事前学修】60分 教科書の該当範囲を読む 事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施</p> <p>【事後学修】60分 法律や制度、活用できる社会資源の要点をまとめる</p>
<p>10/11 (水) 1 限</p>	<p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授</p>	<p>災害時における精神看護（ディスカッションと講義）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災者とコミュニティの回復プロセスを説明できる ・サイコロジカル・ファーストエイドについて説明できる ・災害時に救助にあたる支援者のメンタルヘルス <p>【事前学修】60分 教科書の該当範囲を読む 事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施</p> <p>【事後学修】60分 災害時における精神看護の要点をまとめる</p>
<p>10/19 (木) 2 限</p>	<p>地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授</p>	<p>疾患の特徴と回復プロセスに応じた治療と看護① (ディスカッションと講義)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症の発病プロセスと症状について説明できる ・統合失調症の回復プロセスについて説明できる <p>【事前学修】60分 教科書の該当範囲を読む 事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施</p> <p>【事後学修】60分 統合失調症の発病プロセスと症状の要点をまとめる</p>
<p>10/24 (火) 4 限</p>	<p>地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授</p>	<p>疾患の特徴と回復プロセスに応じた治療と看護② (ディスカッションと講義)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症の治療について説明できる ・抗精神病薬の効果と副作用を挙げることができる ・服薬継続に向けた看護について説明できる ・回復プロセスに応じた看護の方向性をグループディスカッションを通じて生み出すことができる <p>【事前学修】60分 教科書の該当範囲を読む 事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施</p> <p>【事後学修】60分 統合失調症の治療について要点をまとめる</p>

<p>10/30 (月) 4 限</p>	<p>地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授</p>	<p>疾患の特徴と回復プロセスに応じた治療と看護③ (ディスカッションと講義) ・気分障害の発病プロセスと症状について説明できる ・気分障害の回復のプロセスについて説明できる</p> <p>【事前学修】 60 分 教科書の該当範囲を読む 事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施</p> <p>【事後学修】 60 分 気分障害の発病プロセスと症状の要点をまとめる</p>
<p>11/6 (月) 3 限</p>	<p>地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授</p>	<p>疾患の特徴と回復プロセスに応じた治療と看護④ (ディスカッションと講義) ・気分障害の治療について説明できる ・抗うつ薬の効果と副作用を挙げることができる ・回復プロセスに応じた看護の方向性をグループディスカッションを通じて生み出すことができる ・自殺についての傾向と自殺予防の取り組みが説明できる</p> <p>【事前学修】 60 分 教科書の該当範囲を読む 事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施</p> <p>【事後学修】 60 分 気分障害の治療、自殺予防の要点をまとめる</p>
<p>11/10 (金) 3 限</p>	<p>地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授</p>	<p>疾患の特徴と回復プロセスに応じた治療と看護⑤ (ディスカッションと講義) ・嗜癖行動と依存症の発病プロセス及び回復プロセスについて説明できる ・回復に応じた治療と看護について説明できる</p> <p>【事前学修】 60 分 教科書の該当範囲を読む 事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施</p> <p>【事後学修】 60 分 嗜癖行動と依存症の特徴と治療や看護の要点をまとめる</p>
<p>11/14 (火) 4 限</p>	<p>地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授</p>	<p>精神科医療における治療 (ディスカッションと講義) ・薬物療法について説明できる ・精神療法について説明できる ・環境療法、社会療法について説明できる ・対象に合わせた治療選択を具体的に述べるができる</p> <p>【事前学修】 60 分 教科書の該当範囲を読む 事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施</p> <p>【事後学修】 60 分 精神科医療における治療の要点をまとめる</p>

<p>11/22 (水) 4 限</p>	<p>地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授</p>	<p>回復を支援する（ディスカッションと講義）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リカバリー及びエンパワメント、ストレンクス概念について説明できる ・リカバリーを意識した看護の関わりを具体的に述べるができる ・セルフヘルプグループによる回復について説明できる <p>【事前学修】 60 分 教科書の該当範囲を読む 事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施</p> <p>【事後学修】 60 分 リカバリー、エンパワメント、ストレンクス概念の要点をまとめる</p>
<p>11/27 (月) 3 限</p>	<p>地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師</p>	<p>精神科における身体ケア（ディスカッションと講義）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神科における身体観察の重要性と問題点（困難さ）について説明できる ・精神科におけるフィジカルアセスメントの実際が理解できる ・摂食障害の看護について説明できる <p>【事前学修】 60 分 教科書の該当範囲を読む 事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施</p> <p>【事後学修】 60 分 精神科における身体ケアの要点をまとめる</p>
<p>12/5 (火) 3 限</p>	<p>地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授 外部講師</p>	<p>精神科以外での精神看護①（講義）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リエゾン精神看護についてその概念と役割について説明できる <p>【事前学修】 30 分 教科書の該当範囲を読む</p> <p>【事後学修】 60 分 教科書の該当範囲を読む、感想文を書く</p>
<p>12/13 (水) 2 限</p>	<p>地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授</p>	<p>精神科以外での精神看護②（ディスカッションと講義）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神看護専門看護師の役割と活用について説明できる ・がん及び慢性疾患、その他の身体疾患患者への精神看護について説明できる <p>【事前学修】 60 分 教科書の該当範囲を読む 事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施</p> <p>【事後学修】 60 分 リエゾン精神看護や精神看護専門看護師の役割について要点をまとめる</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ精神看護学 [1] 精神看護の基礎 第6版	武井麻子・末安民生他	医学書院	2021
教	系統看護学講座 専門分野Ⅱ精神看護学 [2] 精神看護の展開 第6版	武井麻子・末安民生他	医学書院	2021

・成績評価方法

定期試験（多肢選択）70%と事前課題ワークシート評価 30%の合計 100%にて評価をする。
事前課題ワークシートはルーブリック評価とし、初回授業で提示する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

事前学修は、教科書の該当範囲を読んだうえで、配布した精神看護方法論事例集の該当事例を読み、必要事項を調べ、事前課題を実施することである。各回最低 60 分を要する。なお、調べたことと事前課題の解答を記載した「事前課題ワークシート」は成績評価対象（30%）とする。

事後学修は、「事後学修要点ノート」に、各授業回の学修の要点をまとめることである。指定された期日までに提出された「事後学修要点ノート」は定期試験での持ち込みを認めることとする。各回最低 60 分を要する。

また、授業中に映写するパワーポイントは WebClass に掲載するので必ず確認し、理解不足だと思う点を教員に質問し、その都度放置せずに事後学修すること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

事前課題については、授業内で解説をし、学生にフィードバックする。

各授業の最後に行う習得度チェックについては、授業内で解答・解説を行う。

リアクションペーパーは、次の授業等で適宜コメントを伝えるなど、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

【その他】

本授業では、各自が取り組んだ事前課題をもとに、事例についてグループディスカッションを実施し、学修理解を深めることに重点を置いている。

また、スマートフォン等から ICT の利用によるアンケートフォーム（Custom form®）を通して、学生の意見の共有や理解度の確認を行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影